

「ヘルスツーリズムの考察」概要

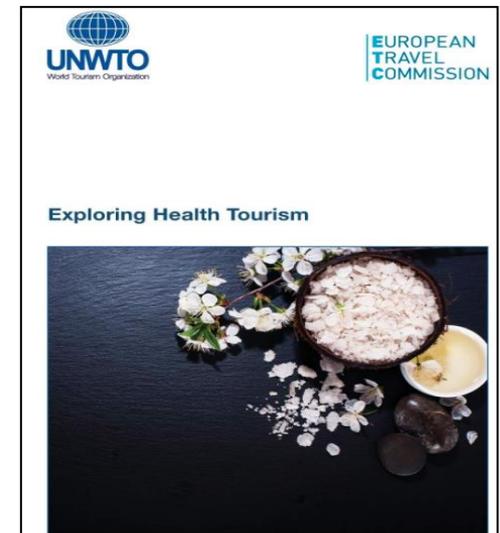
（“Exploring Health Tourism”）

✓ 目的・内容

- 本レポートは、UNWTOと欧州旅行委員会が、国際メディカル・トラベルジャーナルからの支援を受けて作成したもの
- ヘルスツーリズムの概念化を試み、旅行者が健康関連サービスを求める動機を考察するとともに、健康を目的とした旅行に関する分類を初めて試みている。
- ヘルスツーリズムの振興を目指す政府観光局や観光推進組織のための実用的なツールキットを含む

✓ 公表資料

- 2018年初版発行



「ヘルスツーリズム」の定義と市場規模

✓ヘルスツーリズムの定義

ヘルスツーリズム

- 個人のニーズを満たし、環境や社会の中で個人としてより良く機能する能力を高める医療やウェルネスに基づいた活動を通じて、身体的、精神的な健康に貢献することを主な動機とした観光活動を指す。
- ヘルスツーリズムは、ウェルネスツーリズムとメディカルツーリズムに大別できる。

ウェルネスツーリズム

身体、精神、感情、職業、知性など、生活のすべての領域を向上させ、バランスをとることを目的とした観光活動の一種。

フィットネス、健康的な食事、リラクゼーション、癒しのトリートメントなど、予防的、積極的にライフスタイルを向上させる活動等が含まれる。

メディカルツーリズム

医療行為やサービスを利用する観光活動。

診断、治療、治癒、予防、リハビリテーションなどが含まれる。

第22回UNWTO総会（2017年9月）では、上記のヘルスツーリズム、ウェルネスツーリズム、メディカルツーリズムの定義が勧告として採択

✓ヘルスツーリズムの市場規模

- ヘルスツーリズムの市場規模は拡大している。定義が様々であること、及びデータが断片的であるため、ヘルスツーリズムの市場規模や成長率を推定することは困難であるが、2015年の国別貿易データによると、健康関連の海外旅行では米国が圧倒的に収入（36億米ドル）と支出（18億米ドル）が多く、収入ではトルコ（約9億米ドル）、支出ではクウェート（約16億ドル）が続く。純利益では、アメリカ合衆国（18億米ドル）が最大であり、ついで韓国（4億300万米ドル）、フランス（3億3,400万米ドル）と続く。
- 欧州議会の運輸・観光委員会における調査では、2014年のEU28か国におけるヘルスツーリズムの収益は約470億ユーロと推定されており、これはEU28か国グループの観光収益全体の4.6%に相当する。

「ヘルスツーリズム」のメリット・課題

✓ヘルスツーリズムへの需要の高まりの背景

- ・可処分所得の増加
- ・高齢化
- ・都市化に伴う健康状態の悪化
- ・健康意識の向上（高齢者、若年層とも）
- ・技術の発展
- ・環境への配慮

✓ヘルスツーリズムを推進するメリット

- ・季節性の緩和
- ・観光客の分散（ウェルネス施設、医療施設は地方部にあることも多い）

✓ヘルスツーリズムを推進する上での課題

- ・ヘルスツーリズムは、天然資源等に依存することも多いため、適切な資源の利用・管理により持続可能性を確保すること
- ・バリューチェーンに関わる関係者の協力関係構築が重要

✓地域ごとの特色

- ・ヨーロッパでは、伝統的な入浴の歴史と文化から、温泉が盛ん
- ・アメリカは特にフィットネスが人気
- ・アジアでは、東洋医学やホリスティックな体験の人気が高まっている
- ・アフリカ・中東は、自然と野生動物、伝統と最先端の医療施設が併存している新興の観光地といえる



対象とする顧客を絞り、十分なマーケティングを行うことが必要不可欠

ヘルスツーリズム開発戦略を実施するためのフローチャート

